

2024年度 第2回 理事懇談会 抄録

日時： 2024年5月12日（日） 15:00～16:00

場所： ハイブリッド開催

出席者：

理事： 齊藤、大工谷、吉井、佐々木

谷口、板倉、清宮、黒澤、白石、友清、湯元、伊藤、内山、大淵、岡持、小川、

高橋、西山、野崎、長谷川、藤澤、松井、山根

監事： 太田、櫻田、辺土名

欠席者

理事： なし

監事： なし

I. 協議事項

(全1題)

1. 市区町村担当窓口の設置について

(谷口専務理事)

「市区町村担当窓口の設置」について、本会の関連活動との整合性を含めた、本事業への対応方針について、協議がなされた。

本事業は外向きの窓口設置から、先々は市区町村単位で対応可能な組織化のための導入的事業であり、これまでの経過も含め報告するとともに、窓口の設置における以下の論点について提案があった。

(主な論点)

- ① 本会における市区町村窓口設置の大義
- ② 他事業との整理と地域の実情に応じた対応策
- ③ 窓口担当者に期待する人物像・要件

(主な意見)

- 都道府県士会で実施している地域リハ支援体制との整合性を優先することは配慮していただきたい。
- 都道府県の予算で二次医療圏ごとに地域リハ広域支援センターや都道府県リハ支援センターなどを設置しているところがほぼ47士会になっており、既存の活動をスポイルする形にしては、都道府県士会に対するマイナスイメージにもなる。
- 目的が会員の顔の見える環境をつくること、自治体との連携を強めていくことなのであれば、仮に広域窓口が設置されていたとしても、その努力によってその目的が達成できるケースもあり得るだろう。

以上